

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和5年6月13日

栃木県知事  
福田 富一 様

提出者

住 所 栃木県鹿沼市下田町1-1033

氏 名 上都賀総合病院

病院長 安藤 克彦

電話番号 0289-64-2161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	上都賀総合病院
事業場の所在地	栃木県鹿沼市下田町1-1033
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	病院(8311)
②事業の規模	病床数 352床
③従業員数	633人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 感染症廃棄物処理計画の通り

(日本工業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 感染性廃棄物処理計画書のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<b>【前年度（令和4年度）実績】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	243.3 t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙 感染性廃棄物処理計画のとおり 各部署 分別の徹底		
②計画	<b>【目標】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	240.8 t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙 感染性廃棄物処理計画のとおり 継続して各部署 分別の徹底 (排出量は患者数により増減する)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙 感染性廃棄物処理計画書のとおり
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙 感染性廃棄物処理計画書のとおり

## (第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	243.3 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	243.3 t	t
	再生利用業者への処理委託量	243.3 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
処理業者の視察			

②計画	<b>【目標】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	240.8 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	240.8 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	240.8 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
処理業者のとおり			
電子情報処理組織の使用 に関する事項	<b>【前年度（令和4年度）実績】</b>		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	243.3 t	
	(今後実施する予定の取組等)		
引き続き利用していく			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

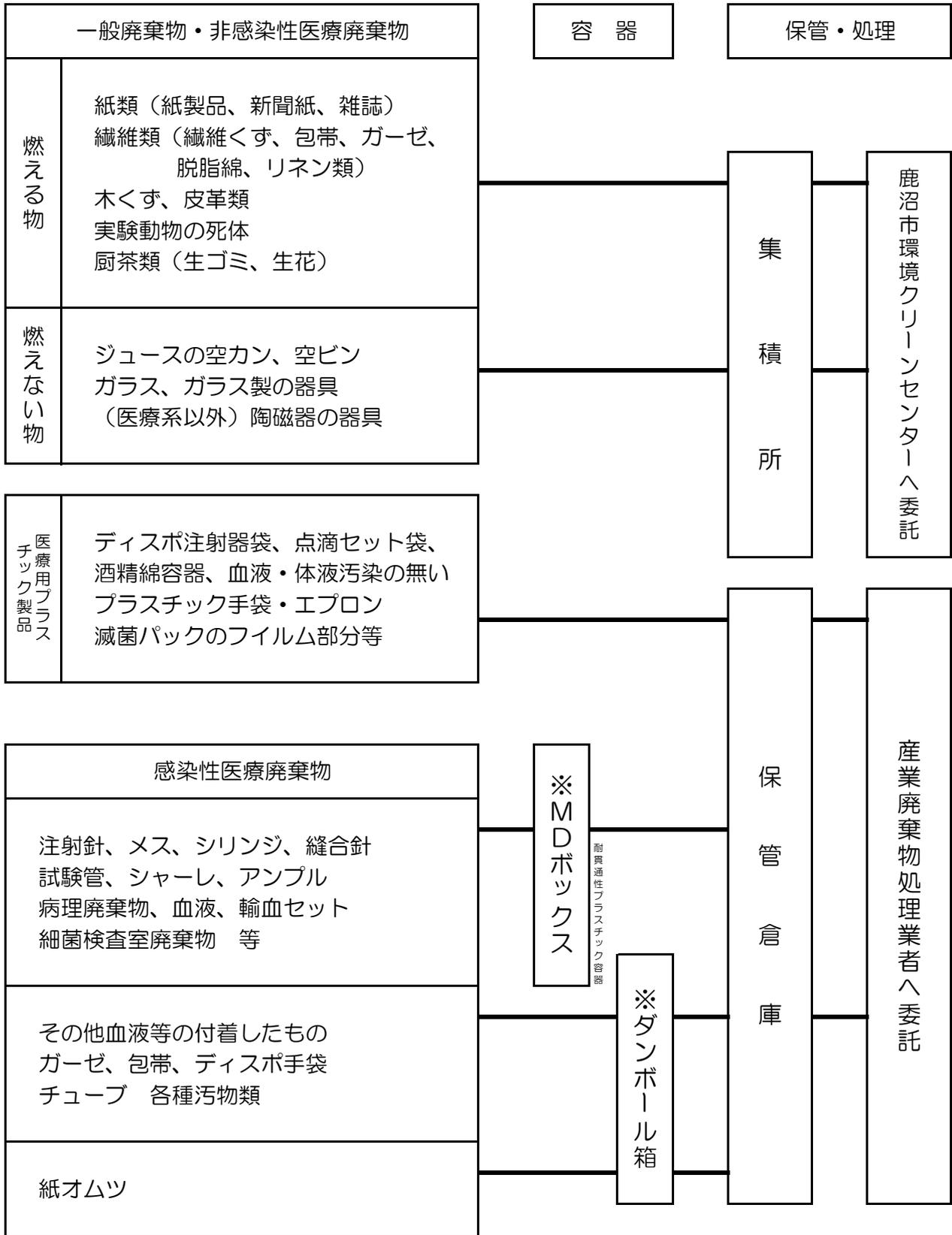
# 感染性廃棄物処理計画書

令和5年4月1日

上都賀厚生農業協同組合連合会

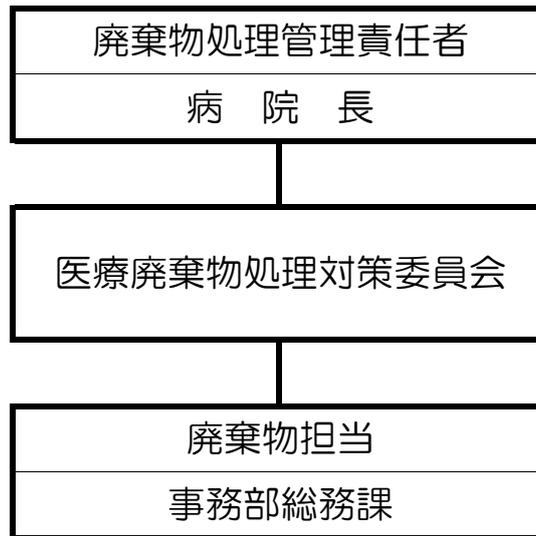
上都賀総合病院

## 廃棄物処理フローチャート

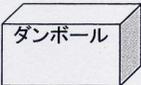
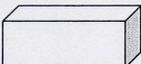
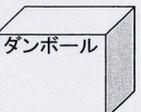
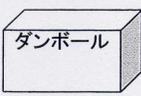


※バイオハザードマーク付容器を密閉して保管  
（MDボックスは75%・ダンボール箱は80%収納）

## 廃棄物処理管理体制



## 1. 感染性廃棄物の処理概要に関する事項

一般廃棄物	燃えるゴミ 	【非感染性の可燃物のみ】 紙類(紙製品、新聞紙、雑誌) 繊維類(繊維くず、包帯、ガーゼ、脱脂綿、リネン類) 木くず、皮革類、実験動物の死体 厨茶類(生ゴミ、生花)
	燃えないゴミ 	【非感染性の不燃物のみ】 空缶、空ビン、金属類(缶ジュース、コーラ、 コーヒー等の缶)
産業廃棄物	非感染性 (ビニール袋) 	【事業系産業廃棄物:非感染性廃棄物】 ディスポ注射器袋、点滴セット袋・酒精綿容器、血液 体液汚染のないプラスチック手袋・エプロン 滅菌パックのフィルム部分等、プラスチック類、ゴム類 ビニール袋、合成樹脂類、ギプス用石膏、陶磁器類
	非感染性 ダンボール 	【事業系産業廃棄物:非感染性廃棄物】 紙オムツ (非感染性)
	特別管理 感染性  ※バイオハザードマーク入り 耐貫通容器	【鋭利な感染性医療廃棄物】 針類・切開関連器材、試験管、シャーレ、ガラス屑 メス、針付き輸液セット、シリンジ等
産業 管理 感染性  ※バイオハザードマーク入り ダンボール	【血液等が付着したもの】 カテーテル類、ドレーン類、チューブ類 パック類、ストマケア類、呼吸器関係、電極 ゴム類、血液等の付着した糸類 血液等の付着した紙類・包帯類、絆創膏類 創傷被覆材、ガーゼ類、繊維製品	
産業 廃棄物 感染性  ※バイオハザードマーク入り ダンボール	【紙おむつ】 感染性胃腸炎(ノロウィルス、ロタウィルス、MRSA腸炎、 偽膜性大腸炎等)	

## 2. 収集・運搬に関する事項

年間 搬出予定表

	特別管理産業廃棄物			
	注射針等		紙オムツ	
	回数	排出量(kg)	回数	排出量(kg)
4月	8	4,400	8	13,900
5月	10	4,700	9	14,700
6月	9	4,400	9	15,500
7月	8	4,800	8	13,160
8月	9	6,700	10	14,500
9月	9	5,400	9	15,900
10月	9	5,060	9	15,400
11月	8	4,400	8	13,200
12月	9	6,200	9	15,200
1月	9	5,800	9	16,600
2月	8	5,000	8	14,500
3月	9	4,700	9	16,700
年計	105	61,560	105	179,260